

桐鈴凜々

第113号
平成 29 年 5 月 15 日発行
発行責任者
社会福祉法人 桐鈴会
理事長 黒岩秩子
南魚沼市浦佐 5142-1
電話 025-780-4118
FAX 025-777-3731
e-mail
info@toureikai.com
<http://www.toureikai.com/>

グループホームおひさま誕生

管理者 小林 裕子



4月1日よりケアホームおひさまとグループホームひまわりの二つの障がい者グループホームの事業を統合し、「グループホームおひさま」としてスタートしました。職員体制や支援内容に変更はありません。「グループホームおひさま」一つの事業のなかに、「おひさま」と「ひまわり」という住居があるという形になります。ややこしくなってしまうしましたが、今まで通り「おひさま」「ひまわり」と呼んでいただければと思います。

4月16日に家族会と食事会を行いました。ひまわりにとつては初めての家族会です。家族会では事業統合の説明や皆さんの日頃の様子について報告させていただきました。高齢の利用者さんご家族から「いつまでおひさまで暮らせるの？」と心配する声が聞かれました。桐鈴会の理念のひとつに「終のすみかを目指す」とあります。ケアハウス鈴懸や高齢者のグループホーム桐の花だけだった時に比べて、障がいの支援に合いません。おひさまでも「終のすみか」は難しいかもしれません。

桐鈴会の理念

- ・終のすみかを目指す
- ・「迷惑をかけ合える関係」を目指す

高齢者、しようがいしゃ、子どもたちが安心して住める地域を創ろう！



でも「安心して過ごしてもらいたいことはできます。グループホームでの暮らしより他の場所での暮らしの方がその方にとってよい時には、きちんとその方にあつた「すみか」がみつかるまで支援しようと考えていますと話しました。



総勢 38 名で盛り上がりました



グループホームおひさまに乾杯!!

食事会は夢草堂で、利用者、ご家族、職員総勢38名の賑やかな会となりました。とんとん厨房桜井佐代子手作りの、春らしい豪華弁当を食べながら、カラオケ、ビンゴゲームと盛り上がりました。

ケアハウス鈴懸

新入居者紹介

勝又千代ノさん



4月より、六日町から勝又千代ノさんが入居しました。
もの静かなやさしい方です。これから、他の入居者や職員と楽しく生活をしていきたいと思っています。

(鈴懸施設長 石田洋一郎)



退職しました

グループホーム桐の花

夜勤専門員 関 勝造



桐の花に平成18年8月に入職して19年にヘルパー2級を取得、平成28年に10年勤続表彰を受けました。自分の人生の中で一番長い職場でしたので、心からうれしかったです。
ここ1、2年疲れが取れず、自分も71歳となり、皆さんに迷惑かけないうちにと3月で退職しました。

10年の中で入居者との別れ、また新入居者との出会いで、人生いろいろ、生活の違い、また昔話の中でいろいろ勉強させていただきました。今後の自分の人生に生かし、まず健康に過ご

すことが一番ではないかと思う日々です。

桐鈴会の皆さまには長い間お世話になり、心からお礼と感謝を申し上げます。

関さんは三味線のボランティアとしても、夏祭りや敬老会などの行事を盛り上げてくれました。10年間、大変お疲れさまでした。(桐の花管理者 小川明子)

異動になりました

グループホーム桐の花

上村直行



3月に、5年8ヶ月間勤めたケアハウス鈴懸から、隣のグループホーム桐の花に異動になりました。

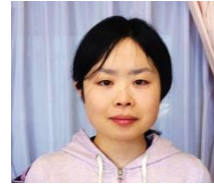
私が桐鈴会の存在を知ったのは、9年前に前職を辞め自宅療養を始めていたときでした。病

院へ通院し順番を待っているときに、久しぶりに地元に戻ってきたので情報を集めようと見た色々なパンフレットの中に「桐鈴凛々」がありました。そこには、桐鈴会の理念が書いてあり、当時、療養によって孤独感を抱いていた私は福祉という業種を大変尊敬したのを覚えています。私は療養中から大学受験を目指そうと中学や高校の勉強をやり直していました。2年前には、東北福祉大学の通信教育部に編入学し、今年の3月に卒業することができました。今年の社会福祉士の試験は不合格となりましたが、来年の試験にはしっかりと準備をして臨みたいと考えています。

仕事への取り組み方としては、自身も療養中で傷病者という当事者であったことや、大学の学びなどから、利用者本位という当たり前であるはずのことに関して、介護の仕事をしていても考え直す場面があります。日々の流れの中で利用者本位に対して疎かになっていないか見つめ直し、どうあるべきか考えていこうと思います。

新入職員紹介

～よろしくお願ひします～



鈴懸おはようヘルプ

小島麻衣

4月から鈴懸のヘルパーとして働いています。以前は、塩沢の仙石にあるまいこ園で、4年間働いていました。

今年の8月で26歳になります。昔からおばあちゃんっ子で、お年寄りの話を聞くのが好きなので、気軽にいつでも話しかけてください。



鈴懸おはようヘルプ

片岡智子

2月よりヘルパーの一員として働いています。

日々、利用者さんに笑顔で励



まさされ、先輩職員にフォローして頂き、こちらでの出会いに感謝し、笑顔を忘れず、みなさんと一日一日を大切に過ごして行きたいと思っています。



工房とんとん

山口仁美

4月11日から工房とんとんのパン班でお世話になっていきます。

以前は、洋菓子を中心とした菓子作りや食堂の接客の仕事をしていました。

何かを作る事が好きで、パンやお菓子だけではなく、ヘアアクセサリーなども趣味で作っています。今までの経験を活かして、お役に立てればと思っていますのでよろしくお願ひします。



工房とんとん

若井かおり

3月から工房とんとんの一員になりました。

いつもいい匂いのパン工房・眺めが最高のカフェ・笑顔の絶えない事務所と、入社から2か月足らずの間いろいろな現場を経験してきました。まだまだご迷惑をおかけするばかりで申し訳ない思いの反面、私としてはとても充実した日々を過ごさせてもらっています。福祉未経験者ですが、皆様に教わりながら少しずつ前進していきたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

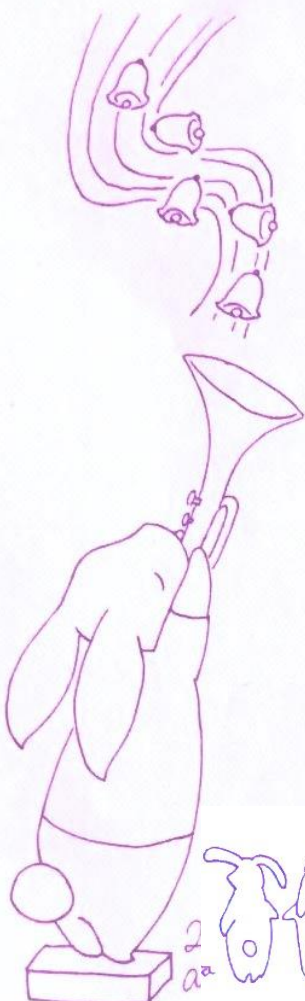
資格取得

★おめでとつございます★

★介護福祉士

グループホーム桐の花

山崎 彩



追悼 二月二十八日逝去

ケアハウス鈴懸 田辺春一さん

鈴懸おはようヘルプ 上村久美子



弔辞

田辺春一さん、あなたが天国へと旅立たれてしまわれたこと、今でも信じられない気持ちでいます。いつかはお別れする日が来ると思っています、その日を迎えてみると淋しくてたまらないものですね。いつものように201号室のチャイムを鳴らせば春一さんが笑顔で迎えてくださるような気がしてなりません。お別れは淋しいですが、職員を代表してお別れの挨拶を捧げさせていただきます。

私が春一さんと初めてお会いしたのはヘルパーとして勤めだした平成24年11月頃でした。

初めの頃はコーヒーに砂糖が足りないなど春一さんによく怒られていたこと、懐かしく思い出されます。お手伝いをさせていただくうちに春一さんも受け入れてくださったのか、色んな

話をしては笑い合いましたね。私の淹れたコーヒーも「一番美味しい」と褒めていただけるようになり、とてもうれしく感じていました。

思い出は尽きず、春一さんと出会ってからのことが驚くほど思い浮かんでしまい、胸が詰まります。

その中でも私が特に印象に残っている光景があります。

それはお元気だった頃、春になるとよくキクイさんと池田美術館へ散歩にいかれていましたね。満開の桜の下をキクイさんの車イスを押して歩く春一さんの姿が今鮮明に思い出されています。ご夫妻の姿はとも仲睦まじく、頼もしくも妻想いの優しい背中をされていましたよ。八色の森公園の桜が咲いたのを眺めるたび、春一さんのその背中をきっと思い出すことですよ。

春一さん、97年という長い人生本当にお疲れさまでした。最期まで春一さんらしく頑張られましたね。

キクイさん、ご親族の方、ケアマネジャーさん、訪問看護さん、ヘルパー、大勢の方に見守られながら安らかに旅立たれましたね。どうか高いところからご家族そして私たちのことを見守ってください。

春一さんのご冥福を心からお祈り申し上げます、お別れの言葉といたします。

今まで本当にありがとうございました。

平成29年3月1日



鈴懸でもお店を開いていた春一さん

秩子の部屋
ケアハウス鈴懸

田辺キクイさん



春一さんの病床で、思い出を語ってくれたキクイさん

2月28日、11時20分、キクイさんの夫、春一さんが穏やかに息を引き取りました。

2月21日(火)朝のご飯をヘルパーの手を振り払って一人で食べ、その後デイサービスに行き、そこで低体温(32度)になって午前中に鈴懸に戻りました。それから昏睡状態になって一切の延命をせず、丁度一週間であんなに逝きました。その間、お見舞いに行つてはキクイさんから、いろいろ聞かせていただきました。キクイさんの語りを再現します。

私のオヤジに赤紙が来て、うちら全部で本家の家に寄せてもらっていた。その時長兄が生まれて、大崎から木村ヨシ子さんが子守として住み込んだ。ところがその赤ちゃんがはしかでなくなってしまった。でも木村ヨシ子さんがとてもいい人だったので、そのまま家にいてもらって、私や弟たちの面倒を見てもらっていた。大人になってから、そのヨシ子さんが、弟の息子、田辺春一を紹介してきて、結婚を要請。母が、「これを断るんだったら、あとは構わんぞ」と言ったので、受けるしかなかった。

私が74歳の時に、脳出血で、斎藤記念病院で手術を受けた。その時、脳から、牛乳瓶に1本くらい血を取った。「運のいい人だ」と言われた。左半身マヒが残ったが、頭や言語は全く正常だった。その後大和病院にリハビリで通っていた時に、鈴懸の工事が始まり、私はここに入ると決めた。春一さんは、仕方なく、という感じで入居した。私75歳、春一が80歳。

私らは、結婚してから2人で柳古新田にお店を作った。何でも売っているお店だった。鈴懸に入る時には、玄関の商品ケースに品物(日用品やのし袋など)を並べて、お店を開いていた。春一さんは、車の運転をして、元の家から物を運んできたり、注文があると届けに行ったりしていた。94歳になった時、自分で、免許を返上し、車も廃車にした。

私らは子どもがないので、お墓を守ってもらえない。だから早いころから、黒岩夫妻と一緒に納骨堂を作ろうと話していた。ところが隣の地権者からの反対で、納骨堂ができず、夢草堂の中に厨子を作って、そこにはほえみ観音を祭った。これを初めてみた時、私は、その観音様があまりにも幸せそうに微笑んでいた。「あんな幸せなところに行けるんだ」と思えるようになった。卒塔婆は10人分ある。すでに鈴木要吉夫妻が入っているが、その隣に田辺春一が入れてもらう。森山里子さんに小さ

な骨壺を作ってもらって、それを厨子の中に入れていた。と思うている。里子さんに小さな骨壺2個注文した。(了)

工房とんとんからのお知らせ

★季節限定パン発売中！！

塩レモンパン ¥130

おやき(ずんだあん) ¥150



★5月より新しいランチメニューがスタート！（数量限定）

○すずカフェAランチ ¥800（ドリンク付き）

～ボリューム満点！日替わりランチ～

○すずカフェBランチ ¥800（ドリンク付き）

～ワンプレートの洋風ランチ

主食は、パンとごはんを選べます～

★かき氷始めました！ぜひご来店ください！

ご予約大歓迎！その他詳しくはスタッフまで

営業時間 10:00～16:00

ラストオーダー 15:30

定休日 日曜・月曜・祝日



「雪どけの会」報告

工房とんとん サービス管理者

湯本利恵子



3月31日理事長と新潟東区プラザへ。30人ほどが集まった会が始まると、事務局の方の息子であるMさんが、「雪どけの会の名簿と皆さんのメッセージを載せた通信を作りたい」と柴田先生（國學院大學）を通して発言しました。

その言葉を受けて、皆さんはそれぞれのお話の中にメッセージを込めました。

初参加の中学生は、「こんなやり方があることに驚き、今まで自分はわかっていないと思われていたが、母親だけはわかってくれていた。しかしそのために母親が孤立していったことがつらかった。今日自分がわかってることを皆さんにわかってもらえてとても嬉しい」と話しました。

中途障がいの女性は、「身体だけでなく意識が戻っていることを伝えられて嬉しい。医者は意

識がないと言った。自分は必死に訴えていたけれど母親以外は信じてくれなかった。自分のように絶望している人にこんなやり方があることを教えて勇気づけてほしい。自分はこの状態が長く続き、一旦絶望し死を考えた。それを脱するとこの状態も悪くないかと思えるようになった。自分のことを気遣う人がたくさんいることがわかり、素直に感謝の気持ちがいってくる。人として大事なことがわかる。歩けたり話せたらわからなかったと思う」と話しました。

多動でじっとしてられないKさんは、柴田先生に手を取ってもらい話そうとすると先生の手をひっかいてしまうので、先生は、「背中に手を当ててあかさたなで読み取ります」と言いました。「僕たちのような勝手に身体が動いて苦しんでいる仲間にもこれを伝えたい。僕たちのような仲間を受け入れてほしい。こういうやり方があったら気持ちを伝えられる。僕たちのように動いてしまう人は、こういう機会に恵まれにくい。何とか伝えたいと思っているが、僕のは

難しい。ひっかいたりしなくても人に伝えられる方法があるというのを早く伝えたい。僕も早くこの方法に出会えていたら人をひっかかなくて済んだ。かみついたり、つきとばしたりして薬漬けになる。人としての尊厳を守ることを頑張りたい。みんなの尊厳を守りたい。多くの苦しんでいる仲間が理解してもらえる時期が来ていると伝えたい。」

中学生のY君は、「きちんと、『頑張っているね』と言える先生は2割。『大変だね』と言える先生は3割。この5割の先生は理解者だと思う。5割は、色々な思いがあつてこの仕事に就いたのに、僕たちの中に人間性を認められない先生。ちゃんと僕たちが理解出来ることを全部話すことができればいいのに。先生たちの生きがいはどこにあるのか？学校の先生を救うためにも自分たちが理解できていることを伝えていく必要がある。せっかくなのでこの仕事についての生きがいが変わらなくなっている先生に、全部わかつていること、理解できていることを伝え

ていく必要がある。」

Oさんは、「時代の流れは僕たちを排除する方向へ行っている気がする。生まれてこなくてもよかったと言われている。去年悲しい事件があった。誰も僕たちの存在の本質が言えなかったこと。人間として豊かに生きていたと誰も言わなかったことが悲しかった。『僕たちはわかっている』と叫びたかった。僕はあの犯人を許したい。」

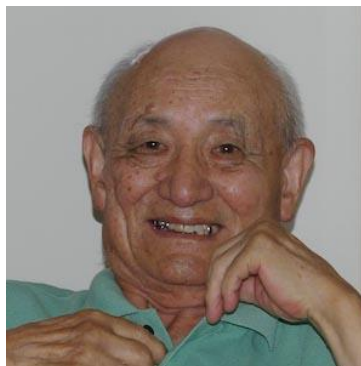
高校生の方は、犯人を許せるのか自問自答している。「やったことは許されるべきではないが、犯人の苦しみをわかつてあげられなかったこと。誰かわかつてあげてほしかった」と。

皆さんの話を聞いていて以前夢草堂で山元加津子さんの講演を聞いた時のことを思い出しました。意識がないように見えても、実はすべての人に思いがあり、全部わかつているし、聞こえているし、見えていると山元さんが言っていたことを。

言葉が発せられないから何も理解していないのではなく、皆さんの思いはとても深いことがわかり感動しました。

追悼 三月三十一日逝去
ケアハウス鈴懸 井口末作さん

理事長 黒岩秩子



在りし日の末作さん、出征体験がありました。

娘さんたちがよく尋ねてきてくださっていました。

弔辞
末作さんは18年前、鈴懸ができたと同時に入居してこられましたね。その頃はとてもお元気で女性たちの人気者でした。ここ数年いろいろなところが悪くなって、救急車も何回か、そして大嫌いな入院も数回。「死んでもいいから入院しない」とおっしゃっていました。数年前にはペースメーカーを入れることになりました。そして最近、肺炎で入院された後車椅子になっ性肺炎、腸閉塞と大変でした。

おしゃれな末作さんは、いつも帽子にスカーフにと気を使っておられました。私の亡き母と1歳違いだったので、仲良くしていたのだと思います。ある時、末作さんが、見覚えのあるチェックのえんじ色のYシャツを着ていらしたことがありました。それは、私の父の遺品だったのです。母に聞くと「大きさがちょうどよかったからあげたの」とのことでした。当時はたぶん末作さんの女性友達の人一人だったのだと思います。新聞を毎日丁寧に読んでおられました。そして日記風にいろいろなことを書きとめておられました。戦争に行った時のことは、詳しく書いてくださって、桐鈴凛々で、多くの方に読んでいただくことができました。96年間、お疲れ様でした。

大石&大胡田トーク&コンサートのお知らせ

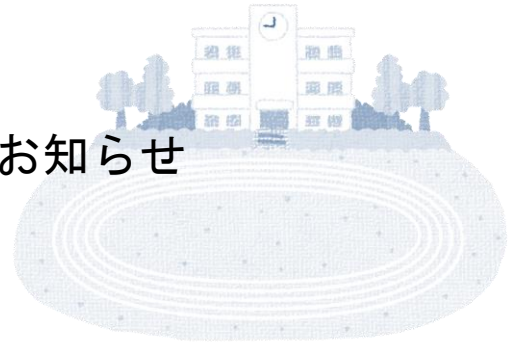
今年南魚沼市図書館3周年記念行事として開催されます。3月まで塩沢小学校長でいらした岡村康秀さんがコーディネイトしてくださいました。すべて入場無料です。

- 6月11日(日) 南魚沼市図書館(六日町駅前)
- 13:00~ 開場
 - 14:00~ 開会 ウェルカム・ギター演奏(地元の若者による)
 - 14:15~ トーク&コンサート(90分間)
 - 15:45~ 広報犬とのふれあい(15分間)
 - 16:00 閉会

- 6月12日(月)
- 六日町中学校 11:00~12:20(80分間)
 - 塩沢中学校 14:20~15:40(80分間)



ゆつくりお休みくださいませ。
平成29年4月3日
*田辺春一さん、井口末作さんのお別れ会は、夢草堂で行われました。



「みんなの学校」上映会のお知らせ

昨年、市民会館で上映され、多くの皆さんに感動を呼び起こした「みんなの学校」を、今年は「さわらび」で上映することにしました。この映画は、大阪市の公立小学校に、地域に住む障がいがある子どもたちすべてを受け入れて、共に学び、共に育て合って成長していくドキュメンタリーです。

お誘い合わせてお出かけください。

記

- 日時 7月23日(日)2回上映、
 ①10:00~12:00(上映会のみ)
 ②14:00~16:30(上映後、森田隆行南魚沼市教育委員会指導主事の楽しいお話あり)
- 会場 コミュニティホール「さわらび」(南魚沼市浦佐 5175 番地 1)
- 入場券 500円(高校生以下無料)
- 主催 社会福祉法人 桐鈴会
- 協力 「みんなの学校」を語る会
- 後援 南魚沼市、南魚沼市教育委員会、南魚沼市社会福祉協議会、魚沼市、魚沼市教育委員会、魚沼市社会福祉協議会、南魚沼郡市教育振興会特別支援教育部
- 連絡先 社会福祉法人 桐鈴会 (025-780-4118)

チケットは、桐鈴会のほか、大和公民館、市民会館、今成薬局(六日町仲町)、かけはし、魚沼市社会福祉協議会、などにあります。



編集後記

今年の春、私の子どもがピカピカの1年生になりました。それと同時に46年間、地域に愛された保育園(魚沼市折立)が一つ閉園になりました。こちらが地元ではない私が子育てをする上で、少人数の園での先生との距離はとて近く、地域の人たちにもすんなり仲間に入れてもらい、園は地元のコミュニティの機能を果たしていました。子どもの人数の減少もあり、ここ何年か閉園の話が尽きませんでした。子どもから「どうして僕の大好きなひかり保育園がなくなっちゃうの?」と聞かれるたびに何とも説明に困りました。最終年度の卒園児は2名でした。式を終えた後の安堵の表情を見ると、少ないからこそ子どもたち一人一人が頑張ることも多かったんだな・・・と思いました。

ありがとう!ひかり保育園★
 工房とんとん 中村和子

